

自分に自信がないでいる
無自覚ドスケベボディー なサッカー娘ちゃんを
心身共に徹底的に愛でてあげようっ!!



自己評価が異様に低い
サッカー娘に「可愛い」と囁きながら
徹底的に愛でてみた

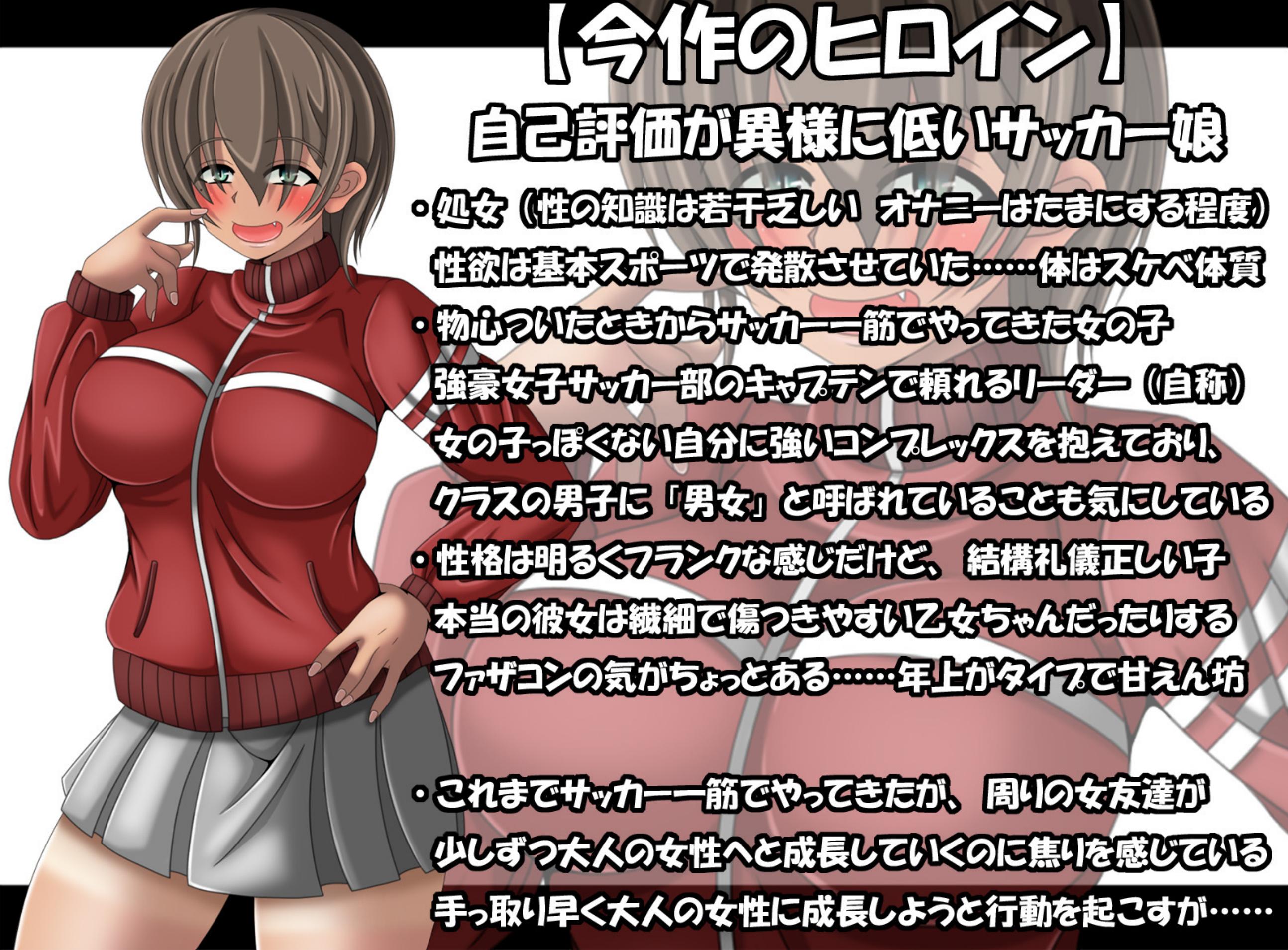
基本CG 15枚 差分 256枚 総枚数 513枚



【今作のヒロイン】

自己評価が異様に低いサッカー娘

- ・処女（性の知識は若干乏しい オナニーはたまにする程度）
性欲は基本スポーツで発散させていた……体はスケベ体质
- ・物心ついたときからサッカー一筋でやってきた女の子
強豪女子サッカー部のキャプテンで頼れるリーダー（自称）
女の子っぽくない自分に強いコンフレックスを抱えており、
クラスの男子に「男女」と呼ばれていることも気にしている
- ・性格は明るくフランクな感じだけど、結構礼儀正しい子
本当の彼女は繊細で傷つきやすい乙女ちゃんだったりする
ファザコンの気がちょっとある……年上がタイプで甘えん坊
- ・これまでサッカー一筋でやってきたが、周りの女友達が
少しづつ大人の女性へと成長していくのに焦りを感じている
手っ取り早く大人の女性に成長しようと行動を起こすが……



おじさん、遅れてごめんねっ！

練習後のミーティングが思いのほか長引いちやつてさ、本当にごめん
ううん、理由はどうあれ、約束の時間に遅れちゃったのは悪いことだし……
でも、うん……うん、ありがと……やっぱりおじさん、優しいよね

レンシュウ、
オツカレサマ
(^-ω^-)

あらすじ

私（貴方）の姿を見つけるとすぐに、駆け寄ってきて約束の時間に遅れたことを何度も謝罪してくる、この女の子と会うのは今日で三回目である

彼女とは少し前にネットのある出会い系掲示板で知り合った

『私のことを大人の女性にしてくれる方募集！』彼女は掲示板にそう書き込んでいた金錢を求めず、ただ「大人の女性にしてくれ」という潔い文章に興味が湧いた書いてあることが本当だとしたら、書き込んだ子は処女か経験の少ない子だろう何も知らない、いたいけな子が、悪い大人に騙されて酷い目に遭うのは忍びないここは善良な大人（嘘）を代表し、この子を保護せねばと思い、メッセージを送ったできる限りこの子の力になりたいと考えたからだ……もちろん下心はあるつ！

誠実で紳士的な内容のメッセージを送ったおかげで、無事彼女から返信がきたそこからは焦らず共通の話題を探し、徐々に緊張と警戒心を解し、信頼を得ていった

え？ あ、ああ……先週の練習試合の結果？

うん……負けちゃったんだ、あと一步つてど」「るだったんだけどね
その悔しさもあってか、「」数日みんな練習に力はいちゃつて……
悪い」とじやないんだけど、根を詰めすぎるのもどうかなってさ



ナルホドー
('-ω-)

う、うん、そう……根を詰めすぎるの、ダメだと思うんだ
だから……ね、息抜き、そうつ！ 息抜きが必要かなって
わ、私も一応キャプテンやってるとさ、それなりに大変だし……



彼女は学校の女子サッカー部でキャプテンを務めている、そこそこの強豪校らしい物心ついた頃から、ずっとサッカー一本でやってきたそうだ

女子サッカーの認知度も高くなつてはいるが、それでも女子サッカー人口は少ない
なので、男の子に混じつて練習することになる……そうなれば自然と男友達が増え、
その子たちと遊んだりすることも当然のことではあつた
彼女もそれが普通で、特に気にしたことでもなかつた……数年前までは

学年が上がるたび、徐々に周りの女友達が綺麗に、大人の女性に近づいていった
長期休みが終わると、明らかに雰囲気が変わつた子も多くいた
自分だけは相変わらずボールだけを追いかけている……取り残されるという焦り
サッカーを嫌いになる訳などないが、自分が年頃の女の子であることに違いはない
悩んだ彼女は、手っ取り早く大人になる方法を出会い系の掲示板に求めたのだった
そして私（貴方）と知り合い、こうしてオフで会うことになった

会つてすぐに一線を越えるような強引なことはせず、最初は軽い顔合わせで済ませ、
二回目は二時間ほど喫茶店に入り談笑……そうしたステップを積み重ね、
彼女の信頼を十分得た今日、いよいよ私（貴方）は彼女の願いを叶えることとした

えっ？ あ、ああ……うつ、うん、お母さんには晩御飯はいらないって連絡した
「今日は練習後に友達とカラオケ行ってくるから、帰り遅くなる」って……うん
信じてると思う……まさか、私が男の人と……とか、考えもしないだろうし
まあ、私なんか誰も相手にしないだろうっていうのには同意だけど……あはは

ソンナコトナイヨッ!
(`・ω・)

ひやつ！えう……か、可愛い？わ、私が？またまた、嘘ばっかし～
こんなちんちくりんの私なんかに、ゴマすつても、なんのメリットもないよ～?
…本心？嘘偽りなく可愛い？わ、私が？ソ、ソウナンダー

ぐく～

かわいイツ!!
(*>ω<)

あ、ありがと……お父さんや親戚以外の男の人から可愛いって言われたことなくて
ん……なんか、凄く恥ずかしいけど、悪い気は……しないかな
うん……そ、そうだね、やっぱりおじさん、優しいね、ふふつ♪
なんでもない……そ、それじゃあ、ホテル、行こうか



えっと、あの……こ、一こう時、どうすればいいか、私全然わからなくって……
あ、うん、リラックス……肩の力を抜いて……深呼吸、深呼吸……
あはは、や、やっぱりそう簡単には落ち着けないかも……ううう

ううう

キレ
キレ

ソワ
ソワ

お、おじさんは本当にいい人だよね……わ、私なんかの我儘に付き合つてくれてさ
本当にごめん……おじさんも、もっと綺麗で大人っぽい子がよかつたでしょ?
私は、クラスの男子に男女つて呼ばれちゃてるし……私なんかじや駄目駄目だよね

あはは……



この子とはまだ三回しか会っていないが、それでもハッキリとわかる」とが一つある
彼女はどういうわけなのか、自己評価が物凄く……とてもなく低い

「私、全然可愛くないですけど、平気ですか？」

彼女から最初に来たメッセージの内容がこれだったので、よっぽどのことだ

客観的に見ても彼女の容姿は決して悪くない……むしろいい部類に入る
しかし幼い頃からサッカーに夢中で、女の子らしいことを一切してこなかつたことと、
クラスの男子から「男女」と呼ばれていることが原因で自己評価が低くなつたのだろう
前者に関しては少しずつでいいから自主的に女の子の文化に触れていけば問題ない
後者は彼女自身に非はない……むしろこの子を「男女」と呼んでいる連中が悪い
彼らは思春期特有の「好きな子に意地悪したくなる病」を煩つてゐるに違いない

なんにせよ彼女は今、女としての自信がゼロ……むしろマイナス状態なのだろう
なら私（貴方）がすることとは決まつてゐる、女としての自信をつけさせてあげればいい
年上の男性からの本気の求愛をその身に浴びれば、それが彼女の自信の糧となる
そうと決まれば話は早い、「可愛い」とひたすら連呼し、徹底的に愛でてあげようつ！

おじさん、無理して褒めなくてもいいってば……私なんか可愛くないし
そ、そんなに何度も……かつ、可愛いって言わないで、恥ずかしいじゃんつ
い、嫌じやないけど、恥ずかしいものは恥ずかしいよお……うう

あアアア

ギーク

あつ……ううん、嫌じゃないよ……頭撫でてもらうの、久しぶりだったから
前はよくお父さんが撫でてくれたけど、「子供っぽいからやめて」って言っちゃって
本当はお父さんに撫でてもらうの、大好きだっただけどね……んつ
おじさんの手……お父さんに撫でられてるみたいで、凄く安心するなあ



え？！いや、お父さんみたって言つたのは老けて見えるとかじゃなく、
安心できるっていう意味で、おじさんの「」と悪く言つたわけじゃ……って、
もうつ、おじさん、私の「」とからかつてるでしょ！

……それで、私はどうすれば許してもらえるの？

もう一つ

ニヤニヤ

え、キスしたら……許してくれるの？ キス、う、ううん駄目じゃないけど
おじさん、私とキス、したいの？ 本当に？ で、でも私とだよ、無理してない？
私？ わ、私は……うん、してみたい、おじさんとキス……してみたい

キス……

ソワ
ソワ

モレ
モレ

ドキッ
ドキッ
ドキッ

んう……だ、大丈夫、ちょっと緊張してるだけだから……
「ごめん嘘、本当は凄くドキドキしてる、今にも心臓壊れそう……うう
でも平気、だから……うん、キス、してください……



ん……ふうつ……ちゅう♥ ちゅう♥
(唇に柔らかくて暖かいのが当たってる……おじさんの唇かなあ?
優しく、ついぱむ様な感じ……これがキスなんだあ ♥)



はふうつ♥ うん、大丈夫……でもまだ心臓バクバクだよ、えへ
キス、しちやつたんだね……なんだか凄く幸せな気分♥
やあ、私なんて全然可愛くないし、本当に恥ずかしいからやめてよお……んう♥



え？ 今のキスは軽い挨拶のキスなの？ それじゃあ、別のキスなんてのもあるの？

大人同士のキス……そんなのもあるんだ、なんか響きからして凄そうだね
挨拶のキスでもあんなに幸せな気分になれたのに、もうと凄いの？

う、うん、大人同士のキス、してみたいっ！

ワクッ
ワクッ



舌を……出せばいいの? んべつ……』、こんなふあんひに?
ほれれ、ろうぶれふあひひの? 『このふあぶあ?
(こんな状態で、どうやって大人のキスするんだろ?)



ひやうつ、んうつ……おひひやつ、んうつ
(えつ、舌……おじさんの舌が私の舌とくっついる……)

くっついてる部分が凄く熱い……これが、大人同士のキスなの?)

んひやつ

れろがつ

フル^リッ

んあつ、はふつ……おじさつ、あむつ……れろおつ
(熱い、熱いよおつ……おじさんの舌が絡んできて、私の舌が溶けちゃいそう)

それに、なんだか頭がボーッとしてきて……このキス、癖になりそう)



はふっ♥ んうと……す、凄かつた、これが大人同士のキスなんだね
えうと、頭がボーッとして、舌も焼けるように熱くて……癖になりそう♥
……う、うん、もう一回、大人のキス、したい♥



はむつ♥ んちゅ、れろれろれろつ、あふうう♥
(「のキス、凄い気持ちいい……これ、絶対はまっちゃうよ♥
彼氏のいる子はみんな、「こんな気持ちいい」としてたんだ……いいなあ
もうとおじさんの舌欲しい……あれ、なんか胸元がスースーする気が……)



え、ええ！ おじさん、いつの間に……やあっ
ちょっと待って、いや、だっておっぱい見えちゃってるし、
いやいやいや、だってキスして気付いたら胸はだけてるっておかしいでしょ！



た、確かに順番的には間違つてないかもだけど……おじさん、手際よすぎない？
私がキスに夢中になつてたせい？ うう、そう言わると反論できないかも
で、でもやっぱり恥ずかし……やあ、またそんな……私、可愛くないよお
だうて……男女って言われてるのに、胸だけ大きくて、不自然だし……



ひやうつ



やあ、

乳首



んあ、だ、大丈夫……ビックリしただけ……だけど、いきなり何すんのさあ
うう、またそんな、可愛くなんて……え? おじさんは、私の胸、好きなの?



そ、そ、う、な、ん、だ、ん、つ、♥、私、の、胸、好、き、な、ん、だ、ふ、う、ん、う、つ、♥、も、う、人、が、話、し、し、て、る、ん、だ、か、ら、胸、い、じ、る、の、や、め、て、あ、ん、つ、♥、そ、ん、な、に、私、の、胸、気、入、つ、た、の、?、そ、っ、か、う、な、ん、だ、え、へ、へ、♥、ね、キ、ス、も、う、一、回、し、て、大、人、の、ほ、う、の、キ、ス、う、ん、つ、♥、

ふうん♥

クニーッ

ヒクツ♥

はむうつ♥ちゅつ、ちゅぶつ、あむあむつ……れろおつ♥
(頭の奥がジーンって痺れる……もう!」のキスの虜になっちゃった♥
あんつ♥乳首も自分でいじった時とは全然違う……凄く気持ちいい♥
この胸、好きじゃなかつたけど、おじさんは喜んでくれてるし……ま、いつか)

やふう♪♥

キコウ

フルッ♥

れろおつ♥

んちゅつ……やあ、もつとキスしたいよお……えつ、次のステップ?
う、うんつ、わかる……キスして胸いじつただけで終わり……じゃないもんね
うん……して欲しい、おじさんの手で、私を大人の女性にして……欲しい♥



おじさんっ、この格好、凄く恥ずかしいんだけど……
そ、そりや服きてたら、できないつてことはわかつてることさ
ううう、でもこれ丸見えになっちゃつてるし……んむうう♥





ちゅう、ちゅむ、あむ、んうう、はふう
(わわっ！ おじさんの舌が私の口の中に入ってきた……凄っ、
おじさんの舌で優しく私の舌が愛撫される感じがする
なんかこのまま何も考えずに思いつきり甘えたくなるなあ)



んもお、おじさんつてばキスで誤魔化すのはずるいよお♥
ううん、大丈夫、続けて……恥ずかしいのも、我慢する
おじさんに大人の女性にしてもらいたいから……えつ?
大人の女性は恥ずかしさも楽しめる時があるので? 本当に?



あ……えっと、大声出してごめん、ってそうじゃなくてっ!
もう、触るなら触るって言ってよ、ビックリするじゃん!

だ、だって、そんなど～ろ、人に触られたことなんかないし
覚悟はしてきたけど、不意打ちするのが悪いんだよつ！
あ、ああ……やあつ♥ そんな風にいじつちやつ、あんつ♥







じゅる、くちゅう……んづんうつ♥ おじさう、むうつ♥
(あう♥ 指の動きが速くなつた……はあう♥ 気持ちいい♥
私の反応を見て、もっと強くしても平氣つて思つたのかな?
おじさん、女性の扱い上手なんだなあ……)

はあっ♥ ん……大丈夫、おじさんが優しくしてくれるから
えう、声出すの我慢しなくてもいい? だけど……んつ♥
私なんかの変な声、聞いても別に……それに恥ずかしいし
やあう、またそんなん……か、可愛くなんて……ないからう



もう、私の変な声なんて聞いても面白くないよ、色気ゼロだし
やだよお、恥ずかしいもん……絶対声出さないからね！
えう、おじさん本気出すの？ いつ、いいよ、平気だもん
私サッカーで鍛えてるから、我慢強いし……楽勝だよ



わひやあああつ!!

あ、また大きな声出して「ごめん……じゃなくてう!

だから、そういう事するなら、一声かけてからにしてよう!



んう……いつ、痛みはないよ……うん、それは大丈夫
でも、膣内に指入れたこと、あまりないから……変な感じ
え？さっきの声？あ、あれはノーカンだよ！
だってあれは、ただビックリして出ちゃった声だもん！





ふう……ぐう、こ、これくらい、なんともないもんっ
ぜ、全然余裕で声、我慢できてるし……んくっ♥
う、うん、大丈夫、痛くは……ないよ
(やっぱり気遣ってくれるんだ……なんか、ずるいなあ)



はう、ああっ♥ ち、違うよ、今のはあくび……だもんっ
そう、あくび……んぐつ、一♪ これくらい、余裕だしつ
(おじさんの指、動きが段々速くなってきた……ああっ♥
速いのに優しい動きで……駄目、一んなの声出ちやうつ♥)



ちゅう♥ んううう、んうんうんう……んうううううう♥
(やつ、このタイミングでキスはダメだよおう♥
力抜けちやう……声、我慢できなくなっちゃう♥)

ふうつ♥ ふうつ♥ んううう、へつ、平気だもんつ♥
こ、これくらい……これくらいつ♥ んくうつ♥
だ、だうて、私、絶対変な声出ちやうに決まつてるもんつ
あううう♥ んううう、うううううつ……はううう♥





ひうっ、うああああっ♥ うつうつうづづ♥
ダメっ、も、ダメえっ♥ おじさう、だめ、
だめだめだめだめっ♥
うづうづ、一んなう、我慢できなう……んああああっ♥

はああああんつ

んああっ ♥ イクッ... いくいくつ、もう、イッちやうつ ♥





はあうつ♥ はあうつ♥ うん……大丈夫、心配しないで
少し刺激が強くて……んうつ♥ 息切れしただけだから
(凄かつたあつ♥ こんな思いつきりイツたの、初めてかも♥
でも大きな声出しちゃった……「んなの我慢、できないよお



んう……あんう♥ おじさんの指、抜けちゃつたあ……
って、何やつてるのっ！ そんなの見せないでいいってば！
もおつ、恥ずかしいから早く手、拭いてよおつ！
(おじさんの手、トロトロ……私あんなにも感じちやつてたの？)

んう……おじさん、どうしたの？ えつ、我慢の限界？
それってどういう……あ、やっぱり私じゃダメだった？
ええっ！ むしろ逆で、ムラムラが我慢の限界……なの？
わ、私に興奮して……ほ、本当なの？



んっ……おじさん、どうしたの？ えつ、我慢の限界？
それってどういう……あ、やっぱり私じゃダメだった？
ええっ！ むしろ逆で、ムラムラが我慢の限界……なの？
わ、私に興奮して……ほ、本当なの？

